

よくある質問

インドで事業を立ち上げる

外国直接投資

1. 新興企業が外国からの資金を確保することは許容されますか？

外国為替管理（インド国外の居住者による譲渡または安全保障の問題）規則によるRBI 2000（FEMA 20）規制により、スタートアップは、株式への加入を通じて、外国ベンチャーキャピタル投資家によるスタートアップのFDI以外の外国人投資家に転換社債を発行することができました。または株式リンク商品または債務商品。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

2. インド起源の人（PIO）は何の略ですか？

「インド人（PIO）の人」とは、バングラデシュまたはパキスタン以外の国の市民を意味します。彼らはいつでもインドのパスポートを持っている、または、彼らまたは両親または祖父母のいずれかがインド憲法または市民権法によりインドの市民であった、または、その人は、インド国民の配偶者、または（1）または（2）で言及されている人です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

3. 政府ルートでの株式の発行に関して、FDIポリシーは何を伴いますか？

FDIポリシーに基づく株式の発行は、政府ルートの下で次のことが許可されています。資本財・機械・設備の輸入（中古機械を除く）術前・法人設立前費用（家賃等の支払いを含む）ただし、これらは、統合FDIポリシーの付録3のサブセクション（iv）、セクション（6）で述べられているように、いくつかの条件の遵守の対象となります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)

4. アポステイーユとは何ですか？また、外国から文書をアポステイーユおよび公証する方法は？

「アポステイーユ」は、1961年のハーグ条約に参加する国で使用するために文書に発行される認証/認証の形式です。アポステイーユは、文書の法的信憑性を確認するためのものです。アポステイーユ

を受け入れる国のリストは、米国国務省によって提供されています。アポストリーユは、条約の締約国である州の政府によって指定された管轄当局によって貼付されます。これらの当局のリストは、国際私法に関するハーグ会議によって維持されています。指定された当局の例は、大使館、省庁、裁判所、または（地方）政府です。アポストリーユ証明書は、1ページの文書の裏側に印刷またはスタンプされた、または緑色の公証リボンで複数ページの文書に添付された公式の政府証明書であり、1つの分離できない文書になります。これは、公証人または公証人や登録機関などの当局の印鑑や署名を認証します。

5. より多くの外部資金を得るために、会社の授権資本を増やすことはできますか？

会社の授権資本は、2013年会社法に従っていつでも増やすことができ、定款でこれが許可されていない場合は、「特別決議」を通過させることでAoAを修正できます。また、外部の商業借入を検討することもできます。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

6. 外国人投資家はどのようにしてインドのポートフォリオ投資に資金を投入できますか？

みなしRFPI（以前はFII）を含むSEBIガイドラインに従って登録されたFPIによる投資は、ポートフォリオ投資スキームの下でインド企業の資本に許可されています。個々のFPIによる投資は、完全に希薄化されたベースで、インド企業の払込資本の10%未満である必要があります。FPIによる総投資額は、完全に希薄化されたベースで、インド企業の払込資本の24%を超えてはなりません。この合計24%の制限は、関係するインドの会社が、それぞれ決議および特別決議を通じて取締役会およびその一般団体の承認を得て、必要に応じてセクターの上限/法定上限まで引き上げることができます。RBIへの事前の通知。FII / FPI投資の総額は、個別に、または他の種類の外国投資と組み合わせて、セクター/法定の上限を超えることはできません。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

7. 外国企業がインドで事業を立ち上げるための規制は何ですか？

外国企業は、2013年会社法に基づいてインド企業または外国企業またはLLPを設立するか、外国の連絡事務所、プロジェクト事務所、または支店を設立することにより、外国直接投資（FDI）を介してインドで事業を設立できます。会社。ただし、インドへの入国は、FDIポリシーおよびFEMA規則の規定に従います。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。